皮膚科

切開した結膜をモスキートで広げ、眼窩隔膜を切開して眼窩脂肪を露出します。

術前

術後

下眼瞼の眼窩脂肪は3つのコンパートメントに分かれています。鼻側は取りすぎると、陥凹の原因となるため、中央、外側をバランスよく適正量切除します。眼窩脂肪は取りすぎないほうが無難です。術中の出血には最大限の注意が必要です。眼窩脂肪を切除する際はモスキートでクランプしてから摘出、バイポーラで止血します。眼瞼結膜の切開部は縫合しません。

1週間ほどで自然に上皮化します。
サージトロンを用いて、ていねいに手術することで、手術直後でも腫れ、皮下出血を目立たなくすることができます。

美容的な側面の高い治療では手術侵襲に特に気を使います。
美容治療を含めた皮膚外科手術で、サージトロンはとても有用です。

【筆者略歴】

平成６年　岡山大学医学部卒業
　　　　　社会保険中京病院、
　　　　　虎の門病院にて研修
平成12年　名古屋大学医学部附属病院
　　　　　皮膚科 助手
平成16年　名古屋大学医学部附属病院
　　　　　皮膚科 講師
平成20年５月　SSクリニック　開院

【専門分野】

皮膚腫瘍、眼瞼下垂などの手術

【資格】

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
日本皮膚外科学会評議員